

第53回通常総会を開催しました。

令和3年5月20日

長野市内のホテル犀北館において、会員及び地区組合事務局長等約30人の出席により、第53回通常総会を開催しました。

会場となったホテルの協力を得て、会場入り口での体温測定、消毒薬の設置、会場内ではアクリル板の設置や席の間隔を広く取るなど、十分な新型コロナウイルス感染症対策が図られる中、議長には丸山功一副会長が就任し、令和2年度の収支決算報告、令和3年度予算案などの議案審議が行われ第1号から3号までの議案全てが承認されました。

議事に先立ってあいさつした松田文治会長は「協会では、昨年度末で期限が切れる軽油引取税の減免措置に対して、県、県議会等への働きかけを行い、加盟する日本砂利協会等中央の関係団体と力を合わせて運動した結果、減免措置の3年間延長が認められた。課税となると中小企業の砂利採取業の経営を大きく圧迫するものであり、引続いて減免措置の恒常化を訴えていく必要がある。また、河川採取量の増量を要望してきた千曲川の河川掘削認可量が、第16次砂利採取規制計画において大幅な増加が認められ、出水期も含め年間採取が可能となった。各地区の組合においては関係官庁との良好な関係を維持し砂利の確保に努める活動を取り組んでほしい。」と述べました。

総会では、令和3年度協会長表彰式が行われ、勤労賞に枝村茂様（㈱平岡砂利）、渡辺正利様（須坂商事有）が受賞されました。

また、同日に開催された長野県砂利砕石事業協同組合連合会の第51回通常総会では、決算報告等3議案が承認されました。



松田会長